

ストップ温暖化！ ゼロカーボンシティの実現に向けて

近年、地球温暖化などによる異常気象によって、最高気温の上昇や、甚大な自然災害など、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

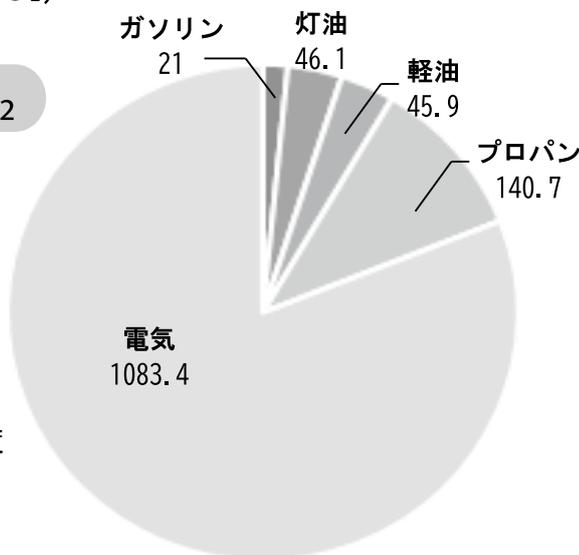
町では地球温暖化の原因とされている「CO₂」を減らし、自然豊かで美しい真鶴を守っていくため、令和3(2021)年4月14日に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

ゼロカーボンシティを実現するための役場の取り組み

役場ではゼロカーボンシティを実現するため、町の事務事業（公共施設や公用車等）におけるCO₂の排出量を令和12(2030)年までに、平成25(2013)年度比40%削減の目標を掲げています。

令和4(2022)年度の公共施設および公用車等によるCO₂排出量(単位:t-CO₂)

合計:1,337.1t-CO₂



ちなみに、平成25(2013)年度(基準年度)は 1,665.1t-CO₂

平成25(2013)年度※1と比べて 19.7%の削減を達成！

※1 国の「地球温暖化対策計画」では、「令和12(2030)年において、平成25(2013)年度比46%削減」が設定されています。

t-CO₂とは

t-CO₂とは、CO₂1トンを表す単位で、「トンシローター」と読みます。二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量を表しています。

CO₂1トンと言われても、なかなかイメージが湧かないかもしれません。CO₂1トンを身近なもので例えると、25mプール1杯分くらいの体積になります。

(0℃、1気圧の場合)



長さ25m×幅13m×深さ1.5m=487.5 m³
CO₂1トンの体積=509 m³として計算

